

第6部

第2期坂東市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略

1 策定の趣旨

2 基本的な考え方

3 基本目標

4 施策の展開方針

1 策定の趣旨

国では、人口減少に歯止めをかけるとともに東京圏一極集中を是正するため、2014（平成26）年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年12月には、2060（令和42）年に1億人程度の人口を維持するなどの中長期的な展望を示した『まち・ひと・しごと創生長期ビジョン』及び5か年の政策目標や施策の基本的方向等をまとめた『まち・ひと・しごと創生総合戦略』を閣議決定しました。

本市においても、「まち・ひと・しごと創生法」の規定に基づき、2016（平成28）年3月に『坂東市人口ビジョン*』及び『坂東市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定し、地方創生に向けた様々な取組を推進してきました。

今般、国が第2期となる『長期ビジョン』及び『総合戦略』を閣議決定したことや、『坂東市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の計画期間が2021年度で終了することを踏まえて、2022（令和4）年度から2025（令和7）年度までの今後4か年の地方創生に関する目標や施策の方向性をまとめた『第2期坂東市まち・ひと・しごと創生総合戦略』（以下「第2期坂東市総合戦略」という。）を策定します。

2 基本的な考え方

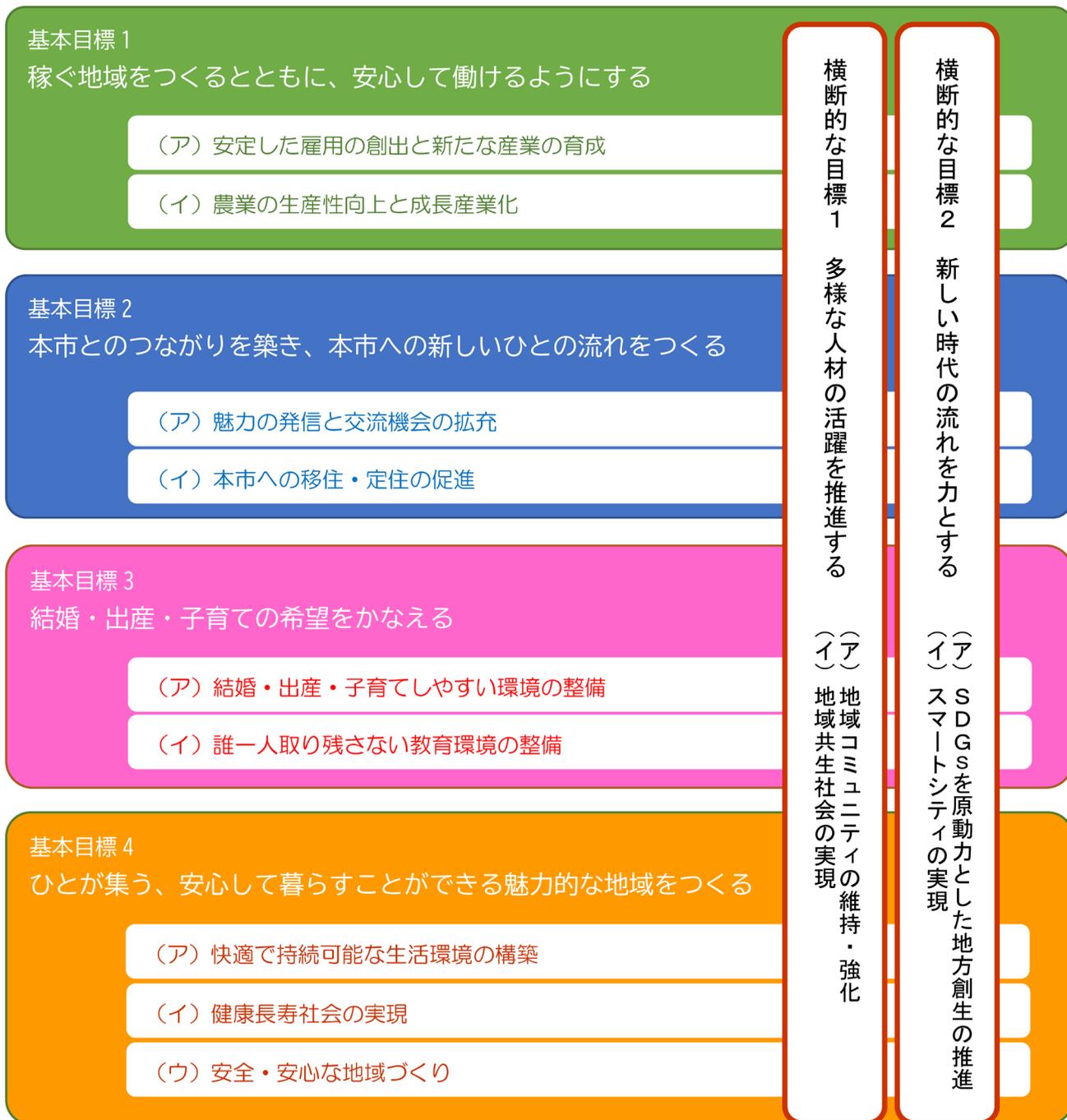
第2期坂東市総合戦略は、国の第2期『まち・ひと・しごと創生総合戦略』（2020改訂版）で示された新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた新しい地方創生や、『まち・ひと・しごと創生基本方針2021』で示された「ヒューマン（地方へのひとの流れの創出、人材支援）」、「デジタル（地方創生に資するDX*の推進）」及び「グリーン（地方が牽引する脱炭素*社会の実現）」の3つの視点等を踏まえて策定します。

また、計画期間は、本市の総合計画『ばんどう未来ビジョン - 第2期戦略プラン』と同じく、2022（令和4）年度から2025（令和7）年度までの4か年とします。

3. 基本目標

次のとおり、4つの「基本目標」を設定します。

また、基本目標に対して横断的に取り組むべき項目として、2つの「横断的な目標」を設定します。



4. 施策の展開方針

基本目標1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

- 地域の特色・強みをいかした産業の振興や企業の競争力強化を図るとともに、効果的に域外から稼ぎ、効率的に域内で富を循環させる地域経済構造を構築します。
- 誰もがその力を発揮できる就業環境や自分の居場所を見出せる環境づくりを通じて、「しごと」の場であり生活の場である地域全体の魅力を高めます。

数値目標	現状値	目標値
1人当たり市民所得（実数）	3,360 千円（H30）	3,460 千円

（ア）安定した雇用の創出と新たな産業の育成

- ① 企業誘致を推進し、安定した雇用の創出と税収の確保に努めます。
- ② 消費の促進と商工業者の経営の安定化を図るとともに、新たな商品の開発や新規創業者への支援を行います。
- ③ テレワーク^{*}の推進や企業のサテライトオフィス^{*}の誘致等により、多様な働き方と市内就労を促進します。

重要業績評価指標（KPI）		現状値	目標値
①	工業団地立地企業の雇用者数	2,976 人（R3）	3,500 人
②	市の創業支援制度を活用した創業件数	4 件（R2）	12 件
③	テレワーク、サテライトオフィス環境整備支援件数	0 件（R3）	3 件

（イ）農業の生産性向上と成長産業化

- ① 農業経営の安定化や継承、新規就農者の支援等に取り組むとともに、6次産業化^{*}やブランド化を推進します。
- ② 農地の集積・集約化による経営の効率化を促進するとともに、畑地等の生産基盤や営農環境の総合的な整備、湛水防除^{*}機能の強化等に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）		現状値	目標値
①	農業産出額	2,279 千万円（R1）	2,285 千万円
②	指定野菜 [*] の収穫量	70,350 t（R1）	72,500 t

基本目標 2

本市とのつながりを築き、本市への新しいひとの流れをつくる

- 地域資源※を最大限に活用したまちのブランド化とプロモーション活動により、継続的に多様な形で関わる関係人口※等の創出・拡大に取り組みます。
- 良好な住環境の整備や移住促進施策の充実等により、転出の抑制と本市への移住・定住を促進します。

数値目標	現状値	目標値
社会増減数	△219人 (R3)	転入超過

(ア) 魅力の発信と交流機会の拡充

- ① 地域の歴史や文化、特色をいかしたまちのブランド力の強化と積極的なプロモーション活動を推進し、郷土愛の醸成と関係人口の創出・拡大に取り組みます。
- ② 個人や企業に対して寄附・投資等を通じた地方創生の取組への積極的な支援を促すなど、本市への資金の流れの創出・拡大を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)		現状値	目標値
①	市公式SNS※のフォロワー数	1,506件 (R3)	1,900件
②	ふるさと納税寄附受入額	25,883千円 (R2)	500,000千円

(イ) 本市への移住・定住の促進

- ① 住宅に関する支援や空き家の活用・流通促進、低未利用市有地等の活用など、既存の資源を活用した良好な住環境の整備に取り組みます。
- ② 移住者に対する生活支援制度を充実するなど、本市へのU・Iターン※を促進します。

重要業績評価指標 (KPI)		現状値	目標値
①	新築住宅着工数 (直近3か年平均)	316件 (R2)	320件
②	市の移住支援制度を利用して 移住した世帯数	0世帯 (R2)	200世帯

基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 地域や企業が連携して、希望にかなった結婚や子育て、仕事と子育てが両立できる環境づくりを推進します。
- 児童・生徒が確かな学力と豊かな心を育み、健やかに成長できるための教育環境を整備します。

数値目標	現状値	目標値
子育ての場として魅力的なまちだと思える市民の割合	45.9% (R3)	50%

(ア) 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

- ① 希望にかなった結婚ができるよう、結婚相談事業や婚活イベント等に取り組みます。
- ② 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援体制を構築します。
- ③ 子育てに関する理解の促進を図るとともに、企業や事業者と連携してワーク・ライフ・バランス*の実現を目指します。

	重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値
①	結婚相談件数	183件 (R2)	240件
②	出生率 (15~49歳までの女性人口千人当たり)	28.9% (R3)	29.4%
③	マタニティ・ファミリークラス参加率	77.3% (R2)	80%

(イ) 誰一人取り残さない教育環境の整備

- ① 多様化する子育て支援ニーズに対応した保育・幼児教育環境と、ICT技術*等を活用した柔軟で質の高い学校教育環境を整備します。
- ② 多様な学習内容と学習機会を提供するとともに、家庭の教育力向上や困難を抱えた子どもたちへの支援、地域との協働による学校運営等に取り組みます。

	重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値
①	学校教育環境の満足度 (4点満点)	2.28点 (R3)	2.5点以上
②	学校運営協議会*を設置した学校数	0校 (R3)	3校

基本目標 4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- 都市機能、日常生活サービス機能を維持・確保するとともに、地域資源^{*}を最大限にいかし、質の高い暮らしを実現するために必要な機能を整備します。
- いつまでも地域で安心して暮らすことができるよう、生涯現役の社会づくりを推進するとともに、防災・減災や防犯、地域の交通安全の確保に取り組みます。

数値目標	現状値	目標値
住み続けたいと思う市民の割合	56.8% (R3)	60%

(ア) 快適で持続可能な生活環境の構築

- ① 利便性の高い公共交通ネットワークの構築やモビリティマネジメント^{*}に取り組むとともに、安全で快適な自転車利用環境^{*}の整備について検討を進めます。
- ② 資源のリサイクルや新エネルギーの導入促進等に取り組み、脱炭素^{*}・循環型^{*}の地域づくりを推進します。

重要業績評価指標 (KPI)		現状値	目標値
①	公共交通の満足度 (4点満点)	1.83点 (R3)	2.5点以上
②	ごみの再生利用率	22.0% (R2)	26%

(イ) 健康長寿社会の実現

- ① 市民の疾病予防やスポーツ活動の推進、感染症対策等に取り組み、市民が主体的に健康で心豊かに暮らしていけるまちづくりを推進します。
- ② 高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、社会参加できる環境づくりや地域包括ケアシステム^{*}の構築に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)		現状値	目標値
①	特定健康診査受診率 (国民健康保険)	26.0% (R2)	60%
②	生きがいを感じている高齢者の割合	— % (R3)	70%

(ウ) 安全・安心な地域づくり

- ① 地域の防災基盤や情報管理体制の構築、市民・企業・関係団体との連携強化等に取り組み、災害に強い体制づくりを進めます。
- ② 誰もが安心して暮らすことができるよう、防犯体制の強化や安全・安心な交通環境の整備に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）		現状値	目標値
①	防災協定締結数	71件（R3）	75件
②	交通事故発生件数	79件（R2）	75件

横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する

(ア) 地域コミュニティの維持・強化

多様化する地域課題の解決に向けて、行政だけではなく、住民や企業、NPOなど、地域に関わる一人ひとりが担い手として積極的にまちづくりに参画できるように、多様な人々が活躍できる環境づくりを推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値
坂東市民協働大学「バンドウミライ楽考」(専門課程) 卒業者数	55人 (R2)	95人

(イ) 地域共生社会の実現

年齢や性別、国籍の違い、障がいの有無等にかかわらず、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、相互に助け合いながら暮らしていくことのできる包摂的*なコミュニティや地域社会の実現に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値
多言語による情報発信を行っている事業数	3事業 (R2)	5事業

横断的な目標2 新しい時代の流れを力とする

(ア) SDGsを原動力とした地方創生の推進

「持続可能な開発目標 (SDGs*)」の推進は、市民・企業・行政における地域課題の共有や政策の全体最適化が図られ、課題解決の加速化が期待できることから、SDGsの理念を取り入れた持続可能なまちづくりに取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値
「SDGs」の認知率	58.0% (R3)	70.0%

(イ) スマートシティの実現

ICT技術*等は、地域が抱える課題を解決するだけでなく、モノやサービスの生産性や利便性を飛躍的に高め、産業や生活の質、そして地域の魅力を向上させることが期待できることから、これらの未来技術を活用したスマートシティ*の実現に向けた取組を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値
AI*、RPA*等を活用した事務事業数	0事業 (R3)	5事業

施策の体系

